R O S É

文化・交流―新しい地域創造

ロゼ

文化情報誌 ロゼ

Art information of Fuji city

Culture Magazine ROSÉ

Vol.5 AUTUMN 1993

オープン記念特集

秋号

Vol. 5

ROSÉ THEATRE

ロゼ 富士市文化情報誌 ロゼ 1993年 10月発行(第5号)
発行 (財)富士市文化振興財団 〒416富士市蓼原1307番地の8 TEL(0545)60-2510(代)
企画・編集 (財)富士市文化振興財団 アドスペース エービック株式会社

ROSÉ THEATRE OPENING SPECIAL FEATURE

architectural conception

二十一世紀に向かい、総合文化施設〝ロゼシアター〟で
富士市は豊かな文化都市をめざす。

コンセプトは「文化と文化、人と人との交流の場」

いよいよロゼシアターが十一月一日、オープンとなりました。
街と会館の一体化を計り、富士山の景観を取り込んだプランニング。
明確なゾーニングと各エリアを結ぶ軸となる「ガレリア」をはじめ
未来の富士市を見つめ、にぎわいと文化性のある街並の形成や、市民に開かれたスペース。この会館の役割・機能を充分発揮するための建築コンセプトのことなど、設計を担当された(株)石本建築事務所の古山六男氏にお聞きしました。

『文化の広場づくり』をめざした市民に親しまれる施設

富士市の総合文化施設を設計するにあたり、私共は三つの大きなテーマを創りました。まず第一は、この大きな施設が周辺環境と調和して市民に親しまれる『文化の広場づくり』をめざしたことです。

ゆるいカーブを持つ幹線道路に沿って、施設全体の共有空間『ガレリア』を設けました。

このガレリアを支えるイタリア産御影石の列柱空間は、誰でもが自由に入れる文化のストリートです。道路を跨ぐペデストリアンデッキ(歩道橋)で二階へも繋がり、多数の人々の流れを捌きます。また吹き抜けのガレリアは、曲面天井や色彩豊かな一00メートルを超すタピストリーによって、いっそう華やかさとにぎわいを演出してくれると考えています。

▲ロゼのかけ橋からのぞむ

▲ロゼのかけ橋から2階入口へ

鑑賞空間としての各ホールは最上級の質を持つ

第二に、ロゼシアターの各ホールは活用方法を明確にした多目的ホールであり、地方都市での使い方と特性をふまえ、主目的ホールとして最上級の質を持つ鑑賞空間をめざすことでした。

大ホールでは音楽を主目的とし、この聴かせるホールは、まず良質の響きを得るシューボックスタイプを原形として、そのままプロセニアム可変と、一00トン以上の走行音響シェルターにより多目的ホールへの転換を可能としました。このことでロゼシアターのメインホールとしての活用の幅を広げると同時に、高度な鑑賞空間となっています。

中ホールでは演劇を主目的とし、この観やすいホールは臨場感を高めるため客席勾配をきつくし、舞台を囲む形としています。特に舞台照明と機構はグレードアップを計り、全体を暗くしたインテリアはレベルの高い舞台芸術に対応できるものとしています。

小ホールは市民の方々の自主活用を主目的としたホールですが、特に音楽の利用が高いこともあり、良質の響きを得る高い天井、明るく落ち着きのあるインテリアを心掛けています。各ホールの中で最も多く活用されると考えています。

施設の機能と設備の充実は幅広い文化活動を生かすメリット

第三のテーマは、ホールと共に他の施設の機能と設備の充実です。このことで幅広いジャンルの文化活動が活発となり、複合化されたメリットが生かされる建築づくりです。

ロゼシアターでは充分な広さと設備を備えた展示室、各種イベントに活用されるレセプションホール、集会や研修のための和室を含む会議室、音楽や踊りと目的に合わせた練習室やリハーサル室、そしてそれらを支援するレストランや情報コーナー、託児室など、総合文化施設として市民の方々には使い易く、満足して頂けるものと思います。

永い間検討を重ねて作成された市の基本構想を、市長さん始め議会の皆様、また専門分野の方々の協力と理解によって無事完成することができたと考えております。特にこれから運営にたずさわるスタッフのご努力により、市民をはじめ、多くの人々に愛され親しまれるロゼシアターであって欲しいと願っており、また富士市が二十一世紀に向けて豊かな文化都市をめざす上で重要な役割を担うものと確信しております。

ガレリア▶

◀交差点(青葉通り側)近くから撮影
(平成5年9月28日)

▲広場を彩るガス燈

プロフィール

古山六男(ふるやまむつお)

1945年新潟県生まれ、工学院大学建築学科を卒業。(株)石本建築事務所、第一設計統括室部長、'85年から7年間母校の大学建築学科講師を兼務、作品としてはロゼシアターの他に、鎌倉芸術館、中央大学駿河台記念館、横浜市技能文化会館など各種の文化施設が数多い。現在(仮称)川崎市総合文化施設の設計に取組んでいる。

ROSĒ THEATRE OPENING SPECIAL FEATURE

先進のアートが飾るロゼシアター

心象風景富士讃歌

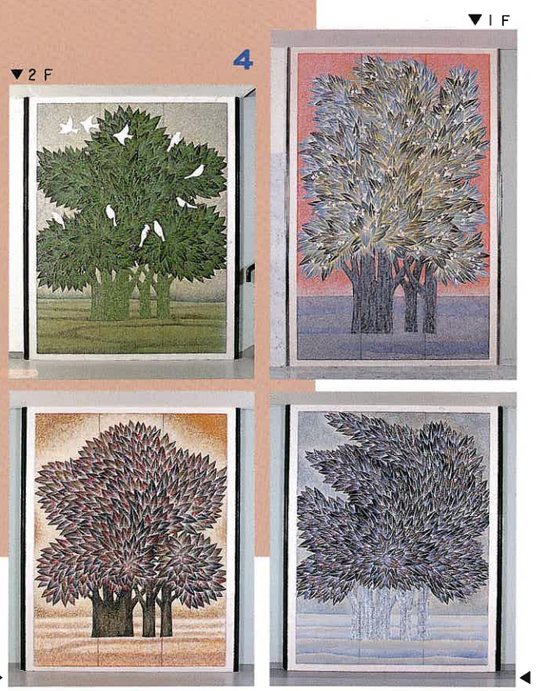
ガレリアやどん帳をはじめ、会館には先進のアーティストによる富士市の躍進をイメージしたタピストリーや陶板が掛けられています。この入念に創られた芸術作品は、人間の手仕事の素晴らしさを教えてくれ、ロゼシアターにさまざまな表情を与えてくれます。ぜひ一度ご覧いただきたく、ここにご紹介いたします。

大ホール

1

3

2



▼1F

4

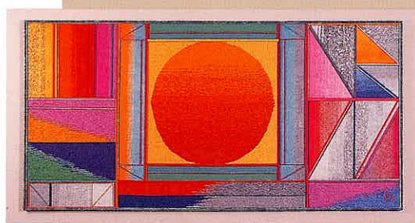
▼2F

3F▶

◀4F

5

6

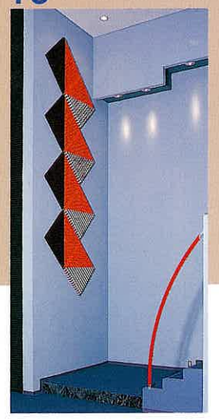


7

8

9

10



11

ART OF ROSĒ THEATRE

ロゼシアターは、市民の皆様にとって楽しい集いの場です。寛ぎと快適さを備えた環境で時間を過ごす喜びの一つとして、これらの作品を楽しんでいただけたら幸いです。以下に作家名とそれぞれの制作意図を紹介します。

1 「富士の表情」シーラ・ヒックス
〈2Fガレリア壁面〉
このタピストリーは、自然や人類の変化に富んだ側面を表現し、それぞれの色彩や造形的質感は、人間の世界を創造しているさまざまな個性が影響し合い、調和していく様子を意図に制作されています。
富士市の人々は富士山を眺め、移りゆく自然の荘厳さに思いを起こしながら日常生活を営み、そしてこの山がもつさまざまな表情は、市民に潤いを与え、同時に世界各地から訪れる多くの人々の心を魅きつけてゆくことでしょう。朝の陽光や午後の日差し、そして夕陽の優雅さの中に、自然と人類の相互作用を見出し、詩情に富んだメッセージとして、表現されています。

2 「流沙浄土変」平山郁夫
〈大ホールどん帳〉
「シルクロードの平山郁夫」として揺るぎない人気を博している平山画伯は、現代日本画壇の第一人者といわれています。「流沙浄土変」は1976年の作品で、同年国内外で開催されたシルクロード展で評判となりました。この作品を原画として、どん帳は制作されました。

3 「Vertical Landscape」草間喜雄
〈小ホール　2Fホワイエ〉
金属パイプと半円筒形、そして五色の糸の組み合わせで富士市の景色を表現しました。

4 「四季」相馬貞雄
〈1F～4F　エレベーターホール〉
富士市の「くすの木」をベースに1F(春)ほのぼの感、2F(夏)鳥を配し生命の讃歌、3F(秋)実りの秋、4F(冬)厳しい中にも迎える春の暖かさを表現。

5 「無窮(むきゅう)」河合　紀
〈4F　ロビー〉
富士の山容の美麗・純粋無垢な姿は天に向かって立ち、雲海から聳える姿を抽象化し、無窮と題した。

6 「COSMIC-KNOT」小林尚美
〈大ホール　3Fホワイエ〉
日本古来から象徴的に扱われる「結び」をデザインし、伝統的フォルムとモダンな色彩で暖かさを表現。

7 「陽輝き－陽昇る」山岸柾史
〈大ホール　2Fホワイエ西側〉
拡がる夢を大きく包み輝く。

8 「進歩と調和」吉武宏子
〈中ホール　3Fホワイエ中央〉
多くの人が集まる空間は人々の和が大切であり、文化を通して個人々々と社会の向上が目的のひとつではないかとイメージしました。

9 「花と風」吉武宏子
〈中ホール　3Fホワイエ南側〉
富士山を中心とした富士市、「美しい日本」の街を思い浮かべました。赤い色は「桜」をイメージしました。

10 「BEYOND 2001」根津りえ
〈中ホール　2Fホワイエ〉
21世紀へ向かって富士市の躍進を表現しました。

11 「春・秋花図」野田好子
〈中ホールどん帳〉
富士市出身の女流画家で中央画壇で大活躍の野田好子画伯。その作風は繊細で、優雅そして不思議な透明感をたたえた心象風景は限りない安らぎを覚えます。この度、どん帳原画に提供された作品は93年の作です。

感動が身近になる!!彩り鮮やかなイベントが咲く!!
文化の発信基地〈ロゼシアター〉

ROSÉ THEATRE OPENING SPECIAL FEATURE

event exhibition

いよいよオープンです!!各ホールや展示室のイベントが、華やかに展開されます。
和・洋・東・西のトップアーチストが、あなたの目の前で歌い演じてくれます。
文化と文化、人と人との出会いと感動が、ここロゼシアターから発信されます。
このさまざまなジャンルの芸術を一人でも多くの方々と共感したい!!
今日、このホールで、この席で……。

中ホールEVENT

11/5(金)・6(土)・7(日)
俳優座公演「復活」
5(金)PM6:00・6(土)PM1:30,6:00・7(日)PM1:30

11/24(水)
PM1:00,6:00
松竹歌舞伎公演

11/26(金)PM7:00開演
柳家小三治&日本音楽集団
ジョイント公演

11/28(日)PM2:00開演
能 観世宗家一行公演

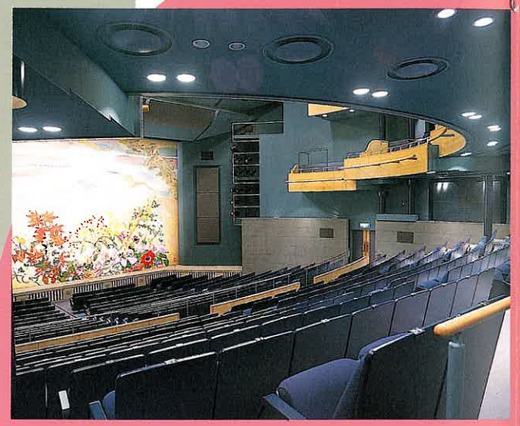
12/6(月) PM7:00開演
東西落語名人会

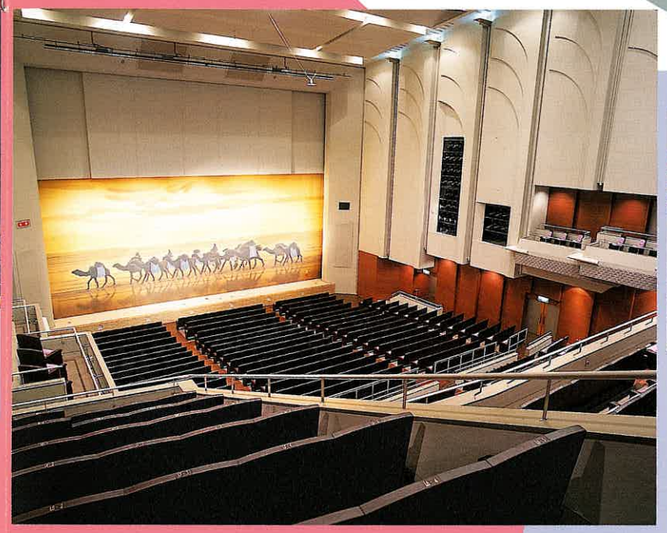
12/10(金) PM7:00開演
室内楽ガラコンサート

12/21(火)PM7:00開演
津軽三味線花の大競演
原田直之

1/7(金) PM7:00開演
ファンタスティック箏コンサート

2/26(土)日本民族舞踊団公演(チケット10/28発売)





レセプションホール

12/22(水) グラシェラ・スサーナ
ディナーコンサート
ディナー/PM5:30〜
カクテル/PM8:30〜

展示室

11/1(月)〜11/9(火)
平山郁夫展 特別展示室
大ホールどん帳原画特別展示

11/1(月)〜11/9(火)
郷土の作家展
橋村雨渓 村井竹山 井上恒也

12/18(土)〜12/26(日)
牧野宗則展

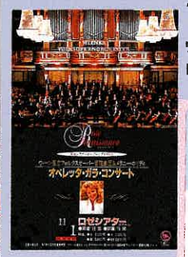
1/5(水)〜1/11(火)
野田好子展
中ホールどん帳原画作家

小ホールEVENT

11/9(火)PM7:00開演
荘村清志&圓城三花コンサート

11/13(土)
PM2:00,7:00
人形劇デフ・パペット
シアターひとみ公演

大ホールEVENT



11/1(月)PM7:00開演
ウィーン・フォルクスオーパー管弦楽団&メラニー・ホリディ
「オペレッタ・ガラ・コンサート」

11/3(水)PM2:00開演
岸 洋子
ファミリーコンサート

11/8(月)PM7:00開演
文化庁移動芸術祭
劇団フォーリーズ公演
「おれたちは天使じゃない」

11/10(水)PM7:00開演
マランド楽団
コンサート

11/16(火)PM7:00開演
イーヴォ・ポゴレリッチピアノコンサート

12/1(水)PM7:00開演
レーナ・マリアコンサート

12/5(日)PM2:30,6:30
石川さゆりコンサート

12/8(水)PM7:00開演
スタンダード・ジャズ
フェスティバル

12/15(水)PM7:00開演
キーロフ・バレエ公演

12/26(日)PM2:00開演
林 哲司
「富士ルネッサンス」コンサート

1/30(日) PM2:00開演
新日本フィルハーモニー交響楽団演奏会

3/23(水) NHK交響楽団演奏会(チケット11/25発売)

将来、ぜひ故郷〔富士〕の舞台でお目にかかりたい。

女優

山本みどり

PROFILE

やまもと みどり／静岡県富士市生まれ。
吉原小、一中、吉原高校を経て東京女子短期大学卒業
昭和53年、ＴＢＳ連続テレビ小説「夫婦ようそろ」でデビュー。
テレビでは、この「夫婦ようそろ」主役をはじめ、ＮＨＫドラマ「日本巌窟王」、
東海テレビ「ふれ愛」「ふれ愛Ⅱ」主役、フジテレビ「銭形平次」、ＴＢＳ「水戸黄門」、
フジテレビ「鬼平犯科帳」、テレビ朝日「三匹が斬る」「遠山の金さん」等の出演や
テレビ東京「いい旅 夢気分」、テレビ朝日「会いたくて 旅気分」等のレポーターも務める。
舞台では「三銃士」「結婚行進曲」「舞扇」「鹿鳴館」「眠狂四郎」
「栄花物語」など各方面で女優として大活躍。

女優『山本みどり』の名をご存知の方は多いと思いますが、十五年前テレビドラマでデビューし、以後時代劇を中心に大いに活躍。近頃女優としてますますあぶらがのってきています。生粋の吉原っ子として、こよなく故郷を愛するみどりさんに、いろいろとお話を伺いました。

吉原で生まれ育ったそうですが――

「ええ、吉原小・一中・吉原高校と、高校卒業まで吉原にいました。」

山本さんというと、時代劇のイメージが強いんですが――

「そうですね。デビュー当時から時代劇が多く、現在のローテーションを考えても京都（時代劇の撮影はほとんど京都）が多いですからね。」

この世界に入られたきっかけですが――

「吉原にいる頃から演劇は好きで、高校も演劇部でした。東京の大学（東京女子短期大）へ入学してからも劇研に入り、よく東京大学の演劇研究会と合同練習をしていて、その劇団が（夢の遊民社）だったんです。（当時はまだ無名で、私自身も知らずに活動していました。）大学の二年間は勉強そっちのけで演劇に夢中だったんです。その時は特別芸能界に興味があった訳ではなく、本当に好きでやっていました。たまたま卒業の年に、ＴＢＳが二十周年記念でテレビ小説のヒロインを一般公募していて、応募したら受かってしまったんです。就職も決まっていましたが、せっかくだからやってみようと…それがテレビドラマへのデビューです。」

それからは女優業へまっしぐらと――

「いいえ、最初は二年位と考えていました。親達も反対で、特に父は（当時富士市役所職員でした）一つやったらやめなさいが口癖でした。でも一つでやめる訳にはいかなくて、次には、次には、という感じで…その内にこの仕事が面白くなり、今ではもう天職だと思っています。女性が長く続けられる仕事って少ないですから、今は続けていて良かったと思っています。」

今度ロゼシアターができることに関しては――

「今いろいろな地域で新しい劇場やホールができていますが、東京よりも地方の人の方が文化に真剣で熱心に取り組んでいるように感じます。大都市には近くに何でも揃っていて、いつでも触れることができるという安心感があるからでしょうか…。私自身小学生の頃から大変文化的なことに興味があって、学校での演劇鑑賞はとても楽しみでした。富士にもこんなに素晴らしい劇場ができ、東京からも新幹線に乗ればすぐに富士に行けますし、最近の人達がうらやましいですね。」

主な活動はテレビが多いようですが、今後舞台などで地方公演の予定は――

「舞台の仕事もいろいろとお話はいただくんですが、現在二才になる子供と出産を控えていますので（十月末か十一月初めの予定です）、しばらく舞台の公演はできないでしょうね。ただ今後の目標としては、出産が終ってしばらくして落ち着きましたら、いろいろな方のご協力をいただきながら私自身をパワーアップして、仕事を意欲的にやって行くつもりです。テレビも好きですが、私自身舞台をやりたいし、周りの方も舞台が合っていると言ってくれます。これからはそちらの方面にも力を入れていきたいと考えています。」

そうなれば、将来は富士へも来ていただけますね――

「若い頃は故郷のことは忘れがちな存在でしたが、最近は何らかの形で地元へ貢献できたらと考えるようになりました。昨年のラ・ホール富士の講演もその一つだと思いますし、東京で舞台をやっていると富士の方が沢山見に来てくれて、もっと舞台をやってね、と言ってくれます。これから先、四十代・五十代に向かっての目標でもありますが、自分の舞台を故郷の皆さんに地元で見ていただけたらと思っております。」

――どうもありがとうございました。お体に気をつけて、健やかなご出産をお祈りいたします。

稲の精霊の舞【三番三】

子供の頃、毎年お正月、あちこちの能会で父の舞う、凛然として重厚、それでいて軽快な「三番三」を見て、父が最も「格好良く見える」一瞬だと思っておりました。

そして、何時かは自分も伝授を受け、その「三番三」を舞わせてもらえる日が来ることを待ち遠しく思っていました。

昭和二十七年、戦火で消失した矢来の観世家の能舞台が再建され、その舞台抜きで「三番三」を「息子さんに」とおっしゃって下さったのは、先代喜之師でした。

その初演は十五歳、あれから四十一年、「三番三」はもう百回を遙かに越えたでしょう。能や狂言が今の姿に定着する以前の芸能の歴史は様々だったようで、時代の流れ、庇護者、観客の好みなどで、洗練、浄化、簡潔化、その他諸々の条件によって表情を変え、演じられ方、行われ方も流転し変化したと思われます。

しかしその奥に流れる真の意味や本当の精神のようなもの、あるいは意図的に隠して伝えて来たものは中々消えるものではありません。まして長年その道に携わり直接関わっている者には、点々と散在しているわずかな痕跡からも、一本の大きな線に繋げて行くことが出来るものです。

私にも「三番三」を舞続けながら、見えて来たものが沢山あります。それは演者にのみ見えるものかも知れません。

天下泰平を寿ぐ、厳かで気品に満ちた「翁」に対して、五穀豊饒を祈る「三番三」の大半は大地を踏み鳴らす賑やかな「足拍子」、大地に潜む悪しきもの、悪霊・害虫・病気・災害、を追い払い、入神状態の演者の清浄壮烈な魂を踏み込んでいく、呪術的な意味があります。ところで「三番三」は直面（ヒタメン＝面を着けない素顔の事）で潑剌と舞う「揉之段」と、黒式尉の面をつけ鈴を振りながらゆっくりと舞う「鈴之段」の二段から成っており、全く趣を異にするこの二つの舞を、何故同じ演者が舞うのか。

「揉之段」と「鈴之段」の最も顕著な違いは、そのリズムにあり、前者はリズムのアクセントが一拍の頭に当たり、従って舞は、前へ前へ先へ先へと、急き立てるように乗って突き進んで行き、上昇・発展・旺盛・攻撃の思いを強く表すのに対して、後者はアクセントが一拍の終わりに当たっており、明らかに前者とは違う、一歩後ろに退いた、周囲をゆったりと静かに見渡し包み込んで舞う安定・充実・保守を感じさせます。また演者が待つ「鈴」が「稲穂」の象徴であることは言うまでもありません。

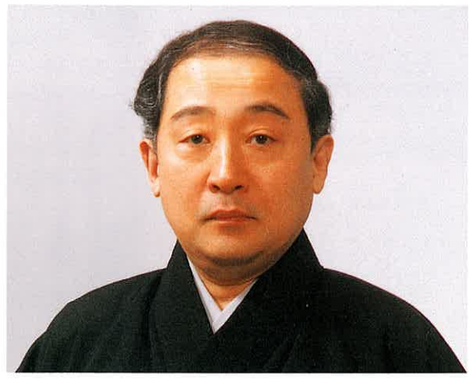
「三番三」は、「稲の精霊」の舞、稲作中心に発展してきた我が国で、稲の成長と実りを祈り見守り続けてきた祖先達が、人間の一生のあるべき理想の姿を、稲の生涯の中に見つけ、それになぞらえた舞だと思うのです。すなわち、「揉之段」は青々とした稲の成長期の表現、人間の青壮年期、「鈴之段」は実る稲の表現、人間の老年期、それはすぐ先に死を予感しながら、生きたことの証しとなる豊饒の実りを抱いて揺ぎ、黄金に輝く穂波の様、人生においても最も豊かな結実を迎える時なのでしょう。毎日が前進と発展である潑剌とした若い時はすばらしい。けれども、瑞々しい若さも輝くような美しさも失い、年老い枯れ果てて後に、人間も稲のごとく最後に美しく見事な実りを獲得出来るとしたら、どんなにか幸せでしょう。それが古来から日本人が理想としてきた、充実した幸福な生涯ではなかったのではないでしょうか。「三番三」は、日本人が最も尊んできた稲が成長し、実りをもたらす様を二つの舞に託し、さらにそれを人間の理想的な生き方として示しているのだというのが私の「三番三」観なのです。

狂言方大蔵流

山本東次郎

PROFILE

昭和12年５月５日生まれ
昭和17年11月　狂言「瘧痺」のシテで初舞台
昭和27年９月　式楽「三番三」披く
昭和33年12月　狂言「釣狐」披く
重要無形文化財総合指定（社団法人日本能楽会会員）
平成４年度芸術選奨文部大臣賞受賞
著書『狂言のすすめ』（玉川大学出版部）
『狂言　山本東次郎』（新人物往来社）（共著）



Pick Up People

●シリーズ・富士の文化活動に参加する人々⑤

富士彫刻グループ

このシリーズも五回目。グループやサークル活動は、どこへ伺ってもそれぞれに魅力があり、毎回毎回の取材は大変興味深いものです。今回は立体造形を楽しむ「富士彫刻グループ」の皆さんです。

私達の造った彫刻が街に並んだら楽しいですね。

市の教育委員会主催の彫刻教室のOBが主体となり、三年前に発足した「富士彫刻グループ」。彫刻を造るって難しいのでは…と思う方も多いでしょうが、「確かに奥が深くて本格的になる迄は大変でしょうが、それよりも、ものを造る喜びを知ることが楽しいですね。」とグループ代表の和田光太郎氏。

現在十名の同好の士は平均年齢六十六～七歳。制作中の目はイキイキと輝き、瀧刺としていて創造力旺盛という感じ。毎週木曜日の集まり。第一・第三木曜日には彫刻家の漆畑勇司氏が指導に来る。

初心者は石膏のレリーフから始め、徐々に大きなものへ移る。「材料も従来の木・石・粘土・石膏からセメント・プラスチック・紙・金属など、いろいろ使いますし、その都度技法を身につけてくるとイメージもふくらみ、やっている時は無心になれますね。」前回は自刻像がテーマ、今は初の直付けに挑戦中。中には等身大の作品を制作中の人もいる。

和田氏の夢は街並の中に自分達の作品を置くこと。「著名作家の素晴らしい作品を置くのもいいことですが、私達市民の造ったものが街中に並べば楽しいじゃないですか。そのためにも外に置ける耐久性のあるFRPのような素材もこれから勉強しますよ。」と意欲満々。今迄二回のグループ展を開き、三回目はロゼシアターでの展示を計画中。皆さんは定年後の楽しみだと言いますが、制作中の姿を見ていると、だんだん若返って行くのではないかと思えてきます。詳細及びお問い合わせは下記まで。

ものを造る喜びを知りたい人、大歓迎!!

- ●日　時／毎週木曜日のPM 1:00～
- ●場　所／富士市富士岡２５７　東部市民プラザ
- ●参加対象／年齢・経験すべて不問(初めての方も大歓迎)
- ●会　費／月額２,０００円(材料費は各自負担)

問い合わせ／富士彫刻グループ事務局
（富士市厚原２０９６－３　TEL0545-71-2459　和田光太郎まで）

編集後記

夢にまで見た会館オープン、凛とした秋気の中、新たな歴史の一ページがめくられる。十月三十一日落成式、午後市民見学会そして翌一日オープニングコンサート……。今ロゼ丸の船出に際し、前途多幸を祈りたい▼表紙を秋色で飾った。素材はガレリアのタピストリー、目の当たりに見るアートの世界に心の中まで染まる感じ、枯葉色の季節を過ぎると陽光燦々たる春、そして夏、これから四季折々に触れこのタピストリーは来館者を楽しませてくれるだろう。▼街路樹が立ち、周辺が整備されたロゼシアターは額装された一点の絵のように美しい。富士市のシンボルとして永遠にと願わずにいられない。

富士市文化情報誌 ロゼ
一九九三年十月発行(第五号)
発行
㈶富士市文化振興財団
〒四一六
富士市蓼原一三〇七番地の八
TEL(〇五四五)六〇―二五一〇㈹
企画・編集
㈶富士市文化振興財団
アドスペース エービック株式会社

ROSÉ THEATRE EVENT INFORMATION

●オープニングイベント／チケットお買い求めのご案内●

イベント名称	日　時	ホール	チケット料金[円]	発売状況
ウィーン・フォルクスオーパー&メラニー・ホリディ・ガラコンサート	11/1(月) 19:00	大	S 8,000 A 7,000 B 5,000 学生2,500	完　売
芹洋子ファミリーコンサート	11/3(水) 14:00	大	大人3,500 小人1,500	好評発売中
俳優座公演「復活」	11/5・6・7 13:30 18:00	中	S 4,000 A 3,500 学生2,000	完売間近
文化庁移動芸術祭 劇団フォーリーズ「おれたちは天使じゃない」	11/8(月) 19:00	大	S 3,500 A 3,000 B 1,500	好評発売中
荘村清志&圓城三花コンサート	11/9(火) 19:00	小	3,000均一	好評発売中
マランド楽団コンサート	11/10(水) 19:00	大	S 5,000 A 4,000 B 3,500	好評発売中
人形劇デフ・パペットシアターひとみ公演	11/13(土) 14:00 19:00	小	大人2,000 小人1,000	好評発売中
イーヴォ・ポゴレリッチピアノコンサート	11/16(火) 19:00	大	S 6,000 A 5,000 B 4,000 学生2,500	好評発売中
松竹歌舞伎公演	11/24(水) 13:00 18:00	中	S 5,000 A 4,000 学生1,500	好評発売中
柳家小三治&日本音楽集団ジョイント公演	11/26(金) 19:00	中	3,500均一	好評発売中
能・観世宗家公演	11/28(日) 14:00	中	S 5,000 A 4,000 学生1,500	完売間近
レーナ・マリアコンサート	12/1(水) 19:00	大	2,000均一	好評発売中
前橋汀子ヴァイオリンコンサート	12/3(金) 19:00	中	3,500均一	好評発売中
石川さゆりコンサート	12/5(日) 14:30 18:30	大	S 6,000 A 5,000	完売間近
東西落語名人会	12/6(月) 19:00	中	S 3,500 A 3,000	好評発売中
スタンダードジャズフェスティバル	12/8(水) 19:00	大	S 4,500 A 3,500	好評発売中
室内楽ガラコンサート	12/10(金) 19:00	中	S 3,500 学生1,000	好評発売中
キーロフ・バレエ公演	12/15(水) 19:00	大	S 12,000 A 9,000 B 7,000 学生3,000	好評発売中
津軽三味線花の大競演	12/21(火) 19:00	中	3,500均一	好評発売中
グラシェラ・スサーナディナーコンサート	12/22(水) 17:30 20:30	レセプションホール	ディナー 20,000 カクテル 10,000	窓口で発売中
林 哲司「富士ルネッサンス」コンサート	12/26(日) 14:00	大	S 5,000 A 4,000	好評発売中
ファンタスティック箏コンサート	1/7(金) 19:00	中	3,000均一	好評発売中
新日本フィルハーモニー交響楽団演奏会	1/30(日) 14:00	大	S 5,500 A 4,500 B 3,000 学生1,500	好評発売中
日本民族舞踊団公演	2/26(土) 14:00 19:00	中	S 3,500 A 3,000	好評発売中
NHK交響楽団演奏会	3/23(水) 18:30	大	S 7,000 A 6,000 学生 2,500	11/25発売

◀1994・1月～3月の催し物のご案内

財団自主事業をはじめ、一般貸出事業を含めた来年三カ月分のイベントスケジュールをお知らせします。このリストをもとに、あなたのスペシャルプログラムをどうぞ。

1 JANUARY

日	曜日	ホール	イベント
6	木	中	ぬいぐるみ人形劇公演 ★
7	金	中	ファンタスティック箏コンサート
8	土	大	新春のつどい(斉藤としつぐ事務所)
8	土	中	バーカッションコンサート
9	日	大	バブルガムブラザーズコンサート
9	日	中	高塚春子ピアノ発表会
13	木	大	坂本冬美コンサート ★
15	土	大	富士市成人式
16	日	大	ピッカリ座ぬいぐるみ人形劇公演 ★
16	日	中	池坊富士支部 新年総会
16	日	小	サイムーンチャリティーコンサート
21	金	中	ロゼ・イブニングコンサート
22	土	大	静岡県オペラ協会 富士支部公演 ★
22	土	小	ふじ落語会
23	日	大	静岡県オペラ協会 富士支部公演
23	日	中	山野流装美着装ショー
23	日	小	茅原初子フルート発表会
28	金	中	いきいき人間ふれあい祭り(展示あり)
30	日	大	新日本フィルハーモニー交響楽団演奏会
30	日	中	服部バレエスクール発表会
30	日	小	望月音楽教室発表会

2 FEBRUARY

日	曜日	ホール	イベント
4	金	中	スペインギターとフラメンコのタベ
5	土	大	ヤマハオリジナルコンサート
5	土	中	富士市PTA協議会 PTAのつどい
5	土	小	福祉をすすめるみんなのつどい講演会
6	日	中	静岡教育映画社映画上映会
6	日	小	横山恵子ピアノ発表会
12	土	中	浅井里美ジャズダンス発表会
13	日	中	ロータリークラブインタシティーミーティング

3 MARCH

日	曜日	ホール	イベント
5	土	中	コールブーケ合唱演奏会
5	土	小	市民文芸表彰式・講演
6	日	中	ぬいぐるみ劇「ピノッキオの冒険」
6	日	小	磯部光代ピアノ発表会
11	金	中	ロゼ・イブニングコンサート
12	土	大	常葉学園富士短期大学卒業式
12	土	中	高塚春子ピアノ発表会
12	土	小	FUJIインバルフルラフィンサンブル化粧演奏会
13	日	中	マンドリンフェスティバル
13	日	小	中村史子ピアノ発表会
19	土	大	梅沢富美男特別公演
20	日	大	PL静岡パトン発表会
20	日	中	こどもオペレッタ
20	日	小	富士二水会箏曲演奏会
21	月	中	軍司高南ライオンズクラブ30周年記念大会
21	月	小	加藤令子ピアノ発表会
23	水	大	NHK交響楽団演奏会
25	金	中	ロゼ・アフタヌーンコンサート
26	土	中	若柳吉以智 日本舞踊公演
26	土	小	馬場美穂子ピアノ・エレクトーン発表会
27	日	中	富士市三曲協会定期演奏会
27	日	小	親子フォルクローレコンサート

4 APRIL

日	曜日	ホール	イベント
18	金	中	ロゼ・イブニングコンサート
20	日	中	富士書道連盟書初展表彰式
20	日	小	富士リズム幼稚園ピアノ発表会
22	火	大	NHKふたりのビッグショー公開録画
26	土	中	蒲原ライオンズクラブ30周年記念演奏会
26	土	小	日本民族舞踊団公演
27	日	大	静岡県合唱連盟おかあさんコーラスフェスティバル

◎日程等は、変更になる場合があります。

■財団自主事業 ★印は、ロゼ・チケットセンター窓口でも取扱っています。

※一般貸出事業については、9月末までの受付です。

展示案内

展示期間	展示室	催事
11/1～11/9	特別	平山郁夫展
11/1～11/9	一般	郷土の作家展
11/11～11/14	一般	全国物産展・友好都市物産展
11/17～12/16	一般	市民作品展
12/18～12/26	一般	牧野宗則展
1/5～1/11	一般	野田好子展
1/13～1/20	一般	新興美術院富士支部展
1/21～1/24	一般	富士市小中学校席書展
1/28～1/31	一般	富士市小中学校技術家庭科作品展
2/4～2/8	一般・特別	富士市小中学校図工美術展
2/9～2/16	一般	ポールスチュアート&内藤恒雄版画展
2/18～2/20	一般・特別	県書道連盟 富士地区書初展
3月上旬	一般・特別	型染め展
3/18～3/20	一般	海老原社中 華道展示会
3/23～3/30	一般	漆畑 登「青磁展」

チケットのお申し込み・お問い合わせは
ロゼ・チケットセンター
☎0545-60-2500（ロゼ ニゴー）
受付時間／9:00～19:00

プレイガイド

- ●すみや
  - 富士本町店☎(0545)63-2233
  - 市役所前店東館☎(0545)53-5800
- ●富士文化センター☎(0545)61-6262
- ●ラ・ホール富士☎(0545)53-4300
- ●チケットセゾン(沼津)☎(0559)61-2405
  - 静岡・浜松店でも扱います。
- ●カワセ書店
  - 鷹岡店☎(0545)71-9592
  - 富士宮・宮原店☎(0544)24-7160
- ●ユニーサービスカウンター
  - 吉原店☎(0545)51-9027㈹
  - 富士宮店☎(0544)24-0255㈹
- ●丹沢楽器富士店☎(0545)52-1586

◎INFORMATION POEM◎

ロゼへのかけ橋
ペデストリアンデッキ
いつもより
ちょっぴり　オシャレして
あなたの大切な人と
一緒に渡ってみませんか